

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助	その他補助	開始時期	平成30年8月1日	終期	令和3年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	若手料理人研修支援補助金 料理人の育成に意欲的な飲食店等に対し、所属する若手料理人が食に関する先進的な取り組みを学び、技術の向上を図る研修を受ける際の費用の一部を補助するもの。							
款・項・目	農林水産業費・農業費・農業総務費							
所属等	農林水産部 食と花の推進課 電話 025-226-1802							

年 度		平成30年度（1年目）		令和元年度（2年目）		令和2年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	1,500	国 750	1,500	国 750	1,500	国 750
	決算(千円)	678	国 339	271	国 135	0	国 0
補助率		1/2		1/2		1/2	
目 標		補助件数 4件/年 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上	50.0%	2件				
	達成率 50%未満			25.0%	1件	0.0%	0件
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		各事業者・店舗のホームページや広報物等					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 研修補助制度の周知を折に触れ行い、参加を促す。また、より制度を活用しやすい形への変更を検討する。 <g～hにおける取組> 研修の成果を直接数値に表すことは難しいため、研修成果の発表・伝達回数などをKPIに設定することも検討していく。			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 35歳以下の料理人が対象となるが、雇用されている者が多く、所属する飲食店が申請を行うため、研修中の人員のやりくりが可能な職場以外は研修への派遣が難しいと考えられる。また、制度の周知が不足している部分もあったと考えられる。			
		① 拡充 ② 改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ③ 継続 ④ 廃止			
		①～④の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 1年目、2年目ともに目標値を下回り、3年目は活用の希望はあったものの、新型コロナウイルスの影響で募集を休止した。4年目となる次年度も引き続き休止の予定だが、再開するときには、より活用しやすい補助形態を検討するとともに、周知を広く行うことで研修参加者を確保し、本市の食文化の伝え手となる若手料理人の育成に努めたい。			